

## 「飯塚市地域公共交通計画」について

### 1. 計画書素案の修正等について

前回協議会（R4.12.26開催）においてご意見いただいた計画書素案の主な修正点

- ①JR九州関連データの修正
- ②市民アンケート調査回収率の修正
- ③事業者ヒアリングの回答内容修正、事業者名削除
- ④実施施策⑩の現況値・目標値の文言修正

（修正したページを抜粋して別途添付）

※修正後の計画書を素案として市民意見募集実施

### 2. 市民意見募集の概要及び結果

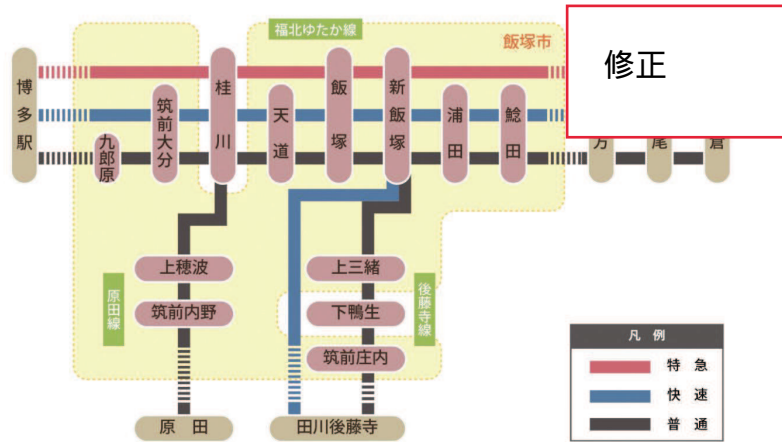
- ①募集案内 令和5年2月1日の市報及び飯塚市ホームページにてお知らせ。
- ②募集期間 令和5年2月6日（月）～令和5年2月28日（火）
- ③計画書閲覧場所 本庁情報公開コーナー・地域公共交通対策課、各支所市民窓口課  
中央公民館（イイヅカコミュニティセンター）、各地区交流センター  
飯塚市ホームページ
- ④意見募集結果 意見提出 0件

※市民意見募集に伴う修正等が生じないため、計画書素案を最終案とする。

### 3. 計画決定までの手続き

- ①市としての計画決定（市長決裁）
- ②計画書の公表、主務大臣（国土交通大臣）へ地域公共交通計画書の送付

(修正前)



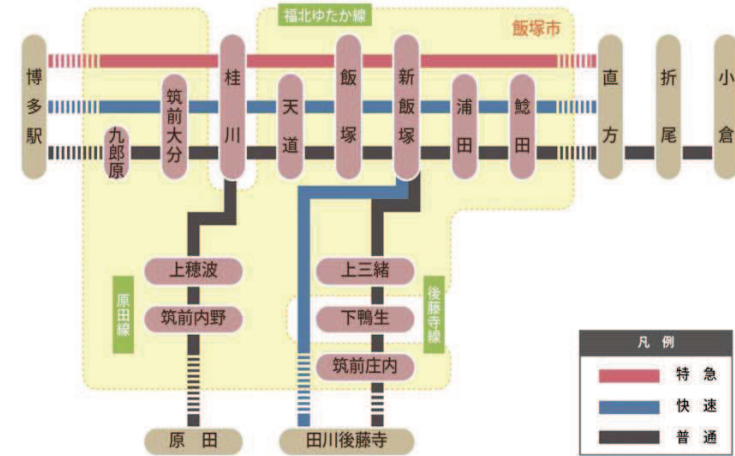
▲ 飯塚市内の鉄道駅と路線図

JR 運行本数

路線名	
JR福北ゆたか線	修正
JR後藤寺線	
JR原田線	

(修正後)

鉄道路線図、JR運行本数の修正



▲ 飯塚市内の鉄道駅と路線図

JR 運行本数

令和4年9月26日現在

路線名	方面	運行本数			運行時刻		基準駅
		平日	土曜	日曜	始発	終発	
JR福北ゆたか線	上り(直方方面)	51	52	50	5:02	0:09	新飯塚駅
	下り(博多方面)	56	56	55	5:27	22:58	新飯塚駅
JR後藤寺線	上り(新飯塚方面)	23	23	23	5:41	22:00	田川後藤寺駅
	下り(田川後藤寺方面)	23	23	23	6:15	22:44	新飯塚駅
JR原田線	上り(桂川方面)	8	9	9	6:59	21:40	原田駅
	下り(原田方面)	8	9	9	6:20	21:02	桂川駅

(修正前)

2-4 飯塚市の地域公共交通の利用状況

1) 鉄道の利用状況

- 新飯塚駅の利用者は2019年度までは堅調に伸びていますが、その他の駅の利用者は横ばいまたは減少傾向となっています。
- 2020年度は新型コロナの影響もあり、各駅の利用者数は急減しています。

▼ JR九州駅別・年度別乗客数

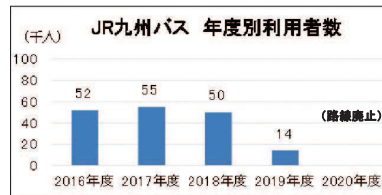
	福北ゆたか線					後藤寺線			原田線		
	鯉田駅	浦田駅	新飯塚駅	飯塚駅	天道駅	筑前大分駅	九郎原駅	上三輪駅	筑前庄内駅	上穂波駅	筑前内野駅
修正											

2) 民間路線バスの利用状況

- 民間路線バスの利用者数は減少傾向にあり、2020年度は新型コロナの影響もあり、利用者数は急減しています。
- JR九州バスは2019(令和元)年9月30日をもって路線が廃止となっています。

▼ 民間路線バス年度別乗客数

	(単位:千人)		
	西鉄バス	JR九州バス	合計
2016年度	6,790	52	6,842
2017年度	6,587	55	6,642
2018年度	6,703	50	6,753
2019年度	6,503	14	6,517
2020年度	3,558	(路線廃止)	3,558



※JR九州バス 市内笠置橋～新飯塚駅間  
 ※JR九州バスは、2019年9月30日の運行をもって廃止  
 資料：統計いづか

▲ 民間路線バス年度別乗客数

(修正後)

2-4 飯塚市の地域公共交通の利用状況

1) 鉄道の利用状況

- 新飯塚駅の利用者は平成30年度までは堅調に伸びていますが、その他の駅の利用者は横ばいまたは減少傾向となっています。
- 令和2年度は新型コロナの影響もあり、各駅の利用者数は急減しています。

▼ JR九州駅別・年度別乗客数

	福北ゆたか線					後藤寺線			原田線		
	鯉田駅	浦田駅	新飯塚駅	飯塚駅	天道駅	筑前大分駅	九郎原駅	上三輪駅	筑前庄内駅	上穂波駅	筑前内野駅
平成28年度	389	100人以上	4,434	1,134	537	732	—	—	—	—	—
平成29年度	393	100人以上	4,503	1,141	548	731	—	—	—	—	—
平成30年度	367	100人以上	4,520	1,122	563	706	—	—	—	—	—
令和元年度	361	100人以上	4,484	1,126	566	678	—	—	—	—	—
令和2年度	279	100人以上	2,994	757	415	468	—	—	—	—	—

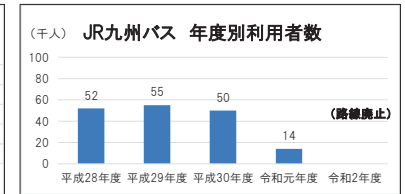
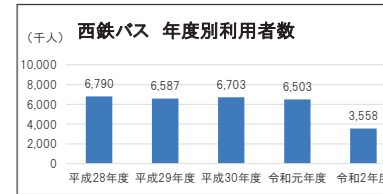
※各駅乗車人員で集計 資料：九州旅客鉄道(株)

2) 民間路線バスの利用状況

- 民間路線バスの利用者数は減少傾向にあり、令和2年度は新型コロナの影響もあり、利用者数は急減しています。
- JR九州バスは令和元年9月30日をもって路線が廃止となっています。

▼ 民間路線バス年度別乗客数

	(単位:千人)		
	西鉄バス	JR九州バス	合計
平成28年度	6,790	52	6,842
平成29年度	6,587	55	6,642
平成30年度	6,703	50	6,753
令和元年度	6,503	14	6,517
令和2年度	3,558	(路線廃止)	3,558



※JR九州バス 市内笠置橋～新飯塚駅間  
 ※JR九州バスは、令和元年9月30日の運行をもって廃止  
 資料：統計いづか

▲ 民間路線バス年度別乗客数

## (修正前)

### 第5章 市民及び事業者の意向調査

#### 1 市民アンケート調査

##### 1-1 調査概要

飯塚市民を対象に、郵送による配布・回収方式によるアンケート調査を実施しました。概要は次のとおりです。

##### ▼ 市民アンケート調査の概要

対象	18歳以上の飯塚市民
抽出方法	12地区の居住割合及び年齢別人口比率により年齢階層別は無作為抽出（令和4年8月1日現在の住民基本台帳より）
調査方法	アンケートを郵送により配布・回収
実施期間	2022年9月7日（水）～9月26日（月）
配布数	3,000通
回収数	1,000票 <b>回収率 30.0%</b>

##### ▼ 地区別の郵送配布数

地区	郵送配布数		
	合計	18～64歳	65歳以上
穎田	126	66	60
飯塚東	183	101	82
穂波	601	363	238
立岩	249	176	73
鯉田	158	85	73
菰田	92	54	38
幸袋	233	138	95
庄内	243	143	100
筑穂	231	121	110
鎮西	275	174	101
二瀬	444	282	162
飯塚・片島	165	97	68
合計	3,000	1,800	1,200

## (修正後)

### 第5章 市民及び事業者の意向調査

#### 1 市民アンケート調査

##### 1-1 調査概要

飯塚市民を対象に、郵送による配布・回収方式によるアンケート調査を実施しました。概要は次のとおりです。

##### ▼ 市民アンケート調査の概要

対象	18歳以上の飯塚市民
抽出方法	12地区の居住割合及び年齢別人口比率により年齢階層別は無作為抽出（令和4年8月1日現在の住民基本台帳より）
調査方法	アンケートを郵送により配布・回収
実施期間	令和4年9月7日（水）～9月26日（月）
配布数	3,000通
回収数	1,000票 <b>回収率 33.3%</b>

##### ▼ 地区別の郵送配布数

地区	郵送配布数		
	合計	18～64歳	65歳以上
穎田	126	66	60
飯塚東	183	101	82
穂波	601	363	238
立岩	249	176	73
鯉田	158	85	73
菰田	92	54	38
幸袋	233	138	95
庄内	243	143	100
筑穂	231	121	110
鎮西	275	174	101
二瀬	444	282	162
飯塚・片島	165	97	68
合計	3,000	1,800	1,200

## (修正前)

### 3 交通事業者ヒアリング調査

#### 3-1 調査概要

飯塚市内で公共交通を運行している事業者を対象に、利用動向や運行に際してのご意見やご要望、その他利用者からよくお聞きするご意見等について鉄道・乗合バス・貸切バス・タクシーを運行する事業者計10社へヒアリング調査を実施しました。

#### ▼ 事業者ヒアリング調査の概要

対象	飯塚市内の公共交通機関 (鉄道・乗合バス・貸切バス・タクシー) を運行する事業者計10社(うち1社回答なし)
調査方法	事業者に直接ヒアリングを実施
実施期間	令和4年10月6、7、11日(3日間)

#### 3-2 調査結果

##### 1) 鉄道運行事業者によるご意見・ご要望

事業者名
削除

##### ● 福北ゆたか線の利用状況

回答
修正

##### ● 原田線の利用状況

回答
修正

## (修正後)

### 3 交通事業者ヒアリング調査

#### 3-1 調査概要

飯塚市内で公共交通を運行している事業者を対象に、利用動向や運行に際してのご意見やご要望、その他利用者からよくお聞きするご意見等について鉄道・乗合バス・貸切バス・タクシーを運行する事業者計10社へヒアリング調査を実施しました。

#### ▼ 事業者ヒアリング調査の概要

対象	飯塚市内の公共交通機関を運行する事業者 (鉄道1社・乗合バス1社・貸切バス1社・タクシー7社の計10社) ※うちタクシー1社回答なし
調査方法	事業者に直接ヒアリングを実施
実施期間	令和4年10月6、7、11日(3日間)

- ・ 事業者名削除(バス・タクシー事業者についても削除済み)
- ・ 回答内容修正(修正後の回答は次頁から記載有り)

## (修正前)

### ●飯塚市内各駅の利用状況

回答
修正

### ●運営状況

回答
修正

### ●今後の課題や取り組み方針

回答
修正

### ●利用者からよくお聞きするご意見、ご要望

回答
修正

### ●行政や利用者に対してのご意見、ご要望

回答
修正

## (修正後)

### 3-2 調査結果

#### 1) 鉄道運行事業者によるご意見・ご要望

### ●鉄道各路線の利用状況

回答
<input type="radio"/> 篠栗線（篠栗～桂川）、筑豊本線（折尾～桂川）（桂川～原田）、後藤寺線（新飯塚～後藤寺）の令和2年度のご利用状況はコロナ禍前の6～7割程度、令和3年度は7～8割程度となっている。移動需要は緩やかに回復しているものの、コロナ禍前に戻ることはなく厳しい状況は続くと思している。

### ●飯塚市内各駅の利用状況

回答
<input type="radio"/> 飯塚市内でご利用の多い駅の1日あたり乗車人員は、令和2年度で新飯塚駅2,994人、飯塚駅757人、筑前大分駅468人、天道駅415人、鯉田駅279人であり、コロナ禍前の7～8割程度に減少した。令和3年度には新飯塚駅3,399人、飯塚駅805人、筑前大分駅482人、天道駅459人、鯉田駅319人とやや回復したものの、コロナ禍前の7～9割程度に留まっている。

### ●運営状況

回答
<input type="radio"/> 新型コロナウイルスの流行に伴う移動需要の減少や個人消費の低迷等により、鉄道事業の運営は厳しさが増している。

### ●利用者からよくお聞きするご意見、ご要望

回答
<input type="radio"/> ダイヤ改正を行った際は、お客さまのご利用状況に応じた利便性の変化について多くのご意見やご要望をいただく。

### ●行政や利用者に対してのご意見、ご要望

回答
<input type="radio"/> 地域の活性化のために、これまで以上に自治体との連携を図りたい。
<input type="radio"/> 自治体や他の交通事業者と協力して、駅を利用しやすい環境づくりを進めたい。

(修正前)

第8章 計画の目標及び目標達成のための実施施策

基本方針	目標	施策	事業	評価指標		評価手法		
				評価指標	令和4年度 現況値 (※を除く)	目標値	市整理・ モニタリ ング 調査	各種 アンケート 調査
<b>基本方針2</b> 民間と行政との連携、及び民間と行政並びに地域住民との協働による公共交通体系の構築								
<b>目標2-1</b> 民間と行政との交通機関相互の連携、及び民間と行政並びに地域住民との協働による公共交通体系の構築								
施策⑥ 民間及び行政の連携による乗継利用促進								
共通乗降場所の設置や運行ダイヤ調整								
				交通結節点設定数	15箇所	20箇所	●	
施策⑦ 民間、行政及び地域住民の協働による地域公共交通の運行計画策定								
まちづくり協議会参画による運行計画編成								
				まちづくり協議会との協働実施地区数	10地区	10地区	●	
施策⑧ 民間、行政及び地域住民の協働による地域公共交通の利用促進活動								
広報誌の掲載・配布								
				広報誌年度掲載回数	4回/年度	4回/年度	●	
説明会開催								
				説明会年度開催回数	1回	毎年度10箇所	●	
<b>目標2-2</b> 住民ニーズに対応した多様な輸送手法の実現								
施策⑨ 公共交通モニタリング調査の実施								
公共交通モニタリング調査の実施								
				公共交通モニタリング調査実施	毎年度実施	毎年度実施	●	
				鉄道の利用満足度	31.4% (満足+やや満足)	40.0% (満足+やや満足)	●	●
				民間バス・民間タクシーの利用満足度	15.3% (満足+やや満足)	20.0% (満足+やや満足)	●	●
				コミュニティ交通の利用満足度	3.2% (満足+やや満足)	5.0% (満足+やや満足)	●	●
施策⑩ 公共交通利用利便性の改善								
スマートフォンを利用した予約の導入								
				利便性向上施策調査実施	毎年度実施	毎年度実施	●	●
運賃電子決済の導入								
				利便性向上施策調査実施	毎年度実施	毎年度実施	●	●
施策⑪ 公共交通利用環境の向上								
乗降場所等の待機環境の向上								
				待機施設等環境向上箇所数	2箇所	10箇所	●	
施策⑫ 多様な輸送形態の実施								
多様な輸送形態の実施								
				地区内デマンド型運行地区	9地区	9地区	●	
				地区内定時路線型運行地区	10地区	10地区	●	
施策⑬ 環境に配慮したコミュニティ交通の運行実施								
エコカーの採用などの調査・検討等								
				コミュニティ交通の環境負荷軽減施策調査・検討	調査中	継続実施	●	●
施策⑭ 民間路線バス事業の代替移動手段の確保								
コミュニティ交通による代替運行								
				民間路線バス代替交通事業実施数	必要に応じて		●	

(修正後)

施策 の現況値・目標値の文言修正

第8章 計画の目標及び目標達成のための実施施策

基本方針	目標	施策	事業	評価指標		評価手法		
				評価指標	令和4年度 現況値 (※を除く)	目標値	市整理・ モニタリ ング 調査	各種 アンケート 調査
<b>基本方針2</b> 民間と行政との連携、及び民間と行政並びに地域住民との協働による公共交通体系の構築								
<b>目標2-1</b> 民間と行政との交通機関相互の連携、及び民間と行政並びに地域住民との協働による公共交通体系の構築								
施策⑥ 民間及び行政の連携による乗継利用促進								
共通乗降場所の設置や運行ダイヤ調整								
				交通結節点設定数	15箇所	20箇所	●	
施策⑦ 民間、行政及び地域住民の協働による地域公共交通の運行計画策定								
まちづくり協議会参画による運行計画編成								
				まちづくり協議会との協働実施地区数	10地区	10地区	●	
施策⑧ 民間、行政及び地域住民の協働による地域公共交通の利用促進活動								
広報誌の掲載・配布								
				広報誌年度掲載回数	4回/年度	4回/年度	●	
説明会開催								
				説明会年度開催回数	1回	毎年度10箇所	●	
<b>目標2-2</b> 住民ニーズに対応した多様な輸送手法の実現								
施策⑨ 公共交通モニタリング調査の実施								
公共交通モニタリング調査の実施								
				公共交通モニタリング調査実施	毎年度実施	毎年度実施	●	
				鉄道の利用満足度	31.4% (満足+やや満足)	40.0% (満足+やや満足)	●	●
				民間バス・民間タクシーの利用満足度	15.3% (満足+やや満足)	20.0% (満足+やや満足)	●	●
				コミュニティ交通の利用満足度	3.2% (満足+やや満足)	5.0% (満足+やや満足)	●	●
施策⑩ 公共交通利用利便性の改善								
スマートフォンを利用した予約の導入								
				利便性向上施策調査実施	事例・ ニーズ調査実施	導入調査・ 調整実施	●	●
運賃電子決済の導入								
				利便性向上施策調査実施	事例・ ニーズ調査実施	導入調査・ 調整実施	●	●
施策⑪ 公共交通利用環境の向上								
乗降場所等の待機環境の向上								
				待機施設等環境向上箇所数	2箇所	10箇所	●	
施策⑫ 多様な輸送形態の実施								
多様な輸送形態の実施								
				地区内デマンド型運行地区	9地区	9地区	●	
				地区内定時路線型運行地区	10地区	10地区	●	
施策⑬ 環境に配慮したコミュニティ交通の運行実施								
エコカーの採用などの調査・検討等								
				コミュニティ交通の環境負荷軽減施策調査・検討	調査中	継続実施	●	●
施策⑭ 民間路線バス事業の代替移動手段の確保								
コミュニティ交通による代替運行								
				民間路線バス代替交通事業実施数	必要に応じて		●	